

CADEWA Smart V2.0

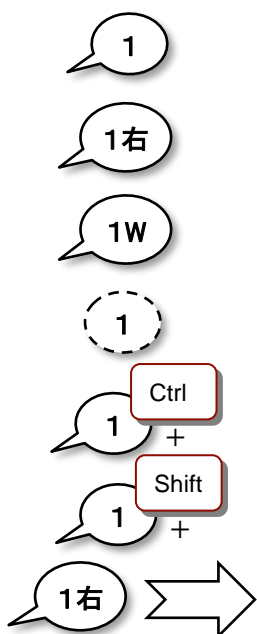
～貼り付け&ラスター編～

目次

ラスターを貼り付けしてみましょう

1. 図面開く、新規作成
2. 図枠
3. ウィンドウのレイアウト
4. 断面定義
5. 断面図の投影
6. クリップボードにコピー
7. 貼り付け
8. ラスター呼び出し

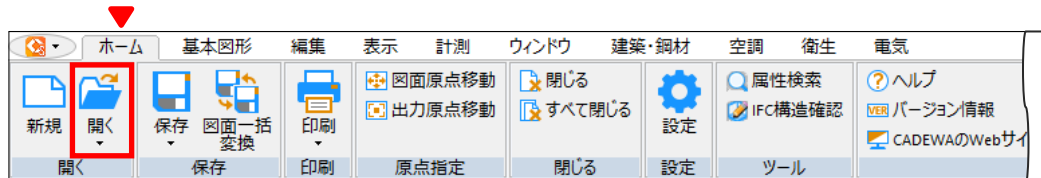
マウスの使い方

- 
- 1
- 1右
- 1W
- 1
- Ctrl + 1
- Shift + 1
- 1右 →
- 右ドラッグマウス移動
- …指示位置をクリック（左クリック）します。
 - …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。
 - …指示位置をダブルクリック（左2回クリック）します。
 - …マウスを表示位置に近づけます。
 - …[Ctrl]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
 - …[Shift]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
 - …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。

1. 図面を開きましょう

Operation

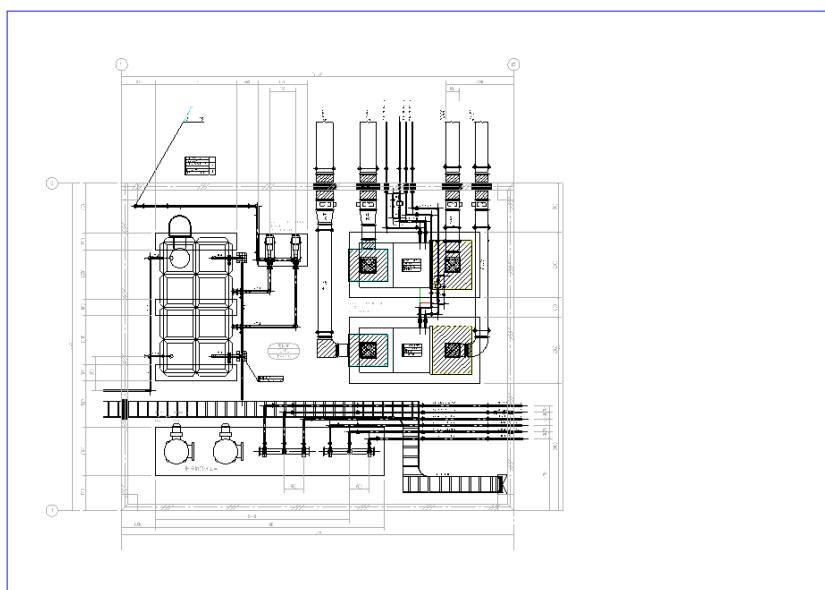
開く



使用する図面は
Smart_20_B05_貼り付け開
始.ZDW

① 図面を選択します

② 開く

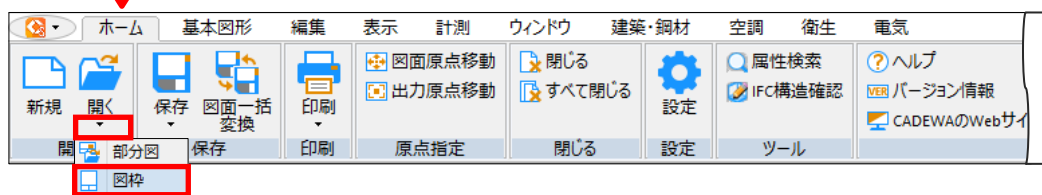


2.

図枠を呼び出しましょう

Operation

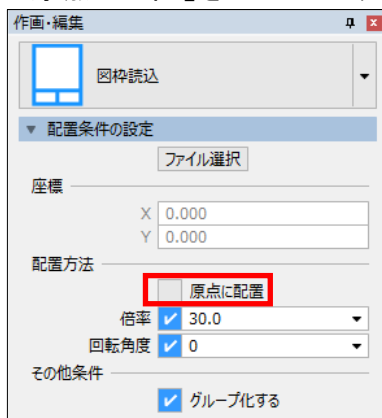
図枠



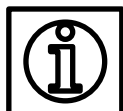
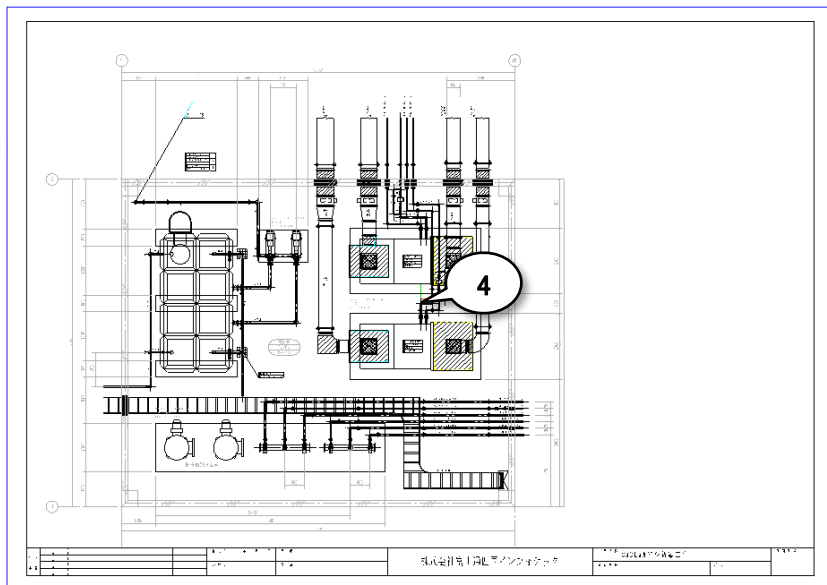
- ① 図枠を選択します
*Smart_20_B05_図枠.ZDW



- ② 開く
- ③ 「原点に配置」をOFFにします



- ④ 配置点を指示してください



図枠の呼び出し

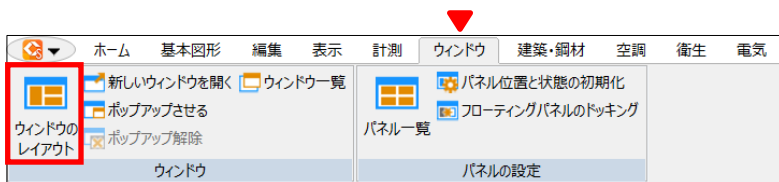
図枠として呼び出せる図面形式は、ZDW、ZDUファイルです。
呼び出し時に倍率が自動計算されますので、図面に応じて倍率を調整して配置してください。
「原点に配置」をOFFにすると、任意の位置に配置できます。

3.

画面を分割してみましょう

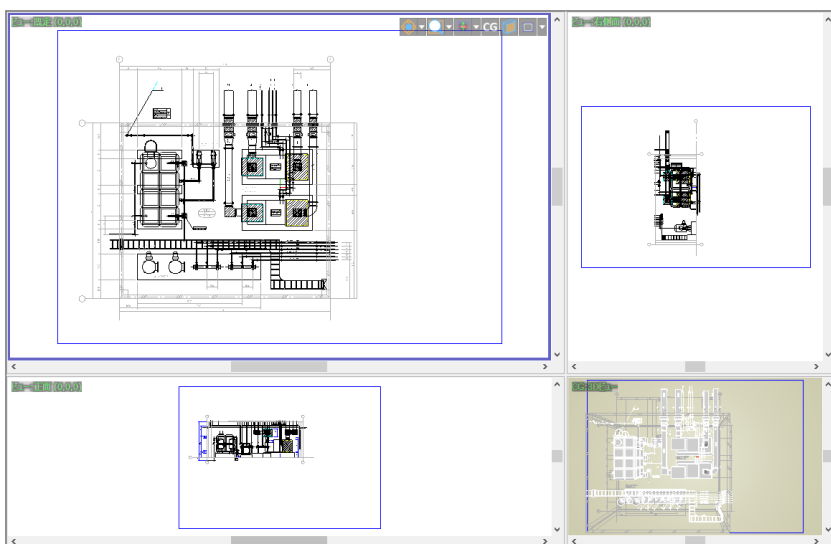
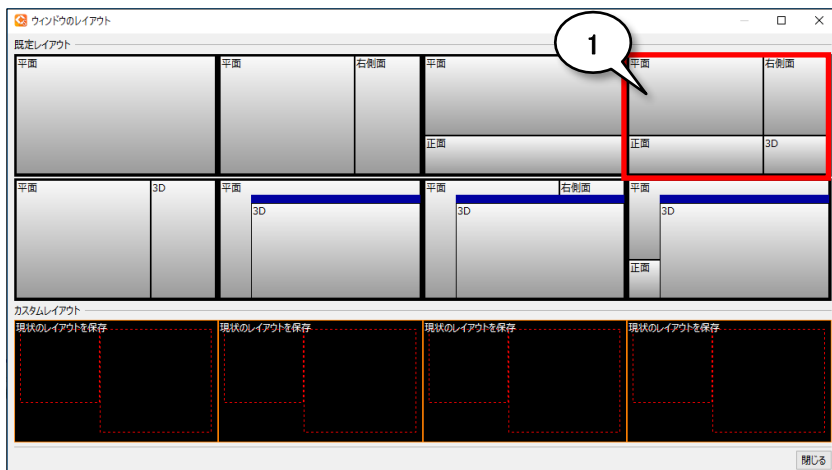
Operation

ウィンドウのレイアウト



平面・正面・右側面・3Dを表示します。

- ① レイアウトを選択します
*平面、正面、右側面、3D



4.

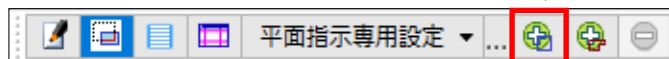
断面に表示する領域を設定しましょう

Operation

断面定義

「新規(矩形)」をクリックし、矩形断面定義を追加します

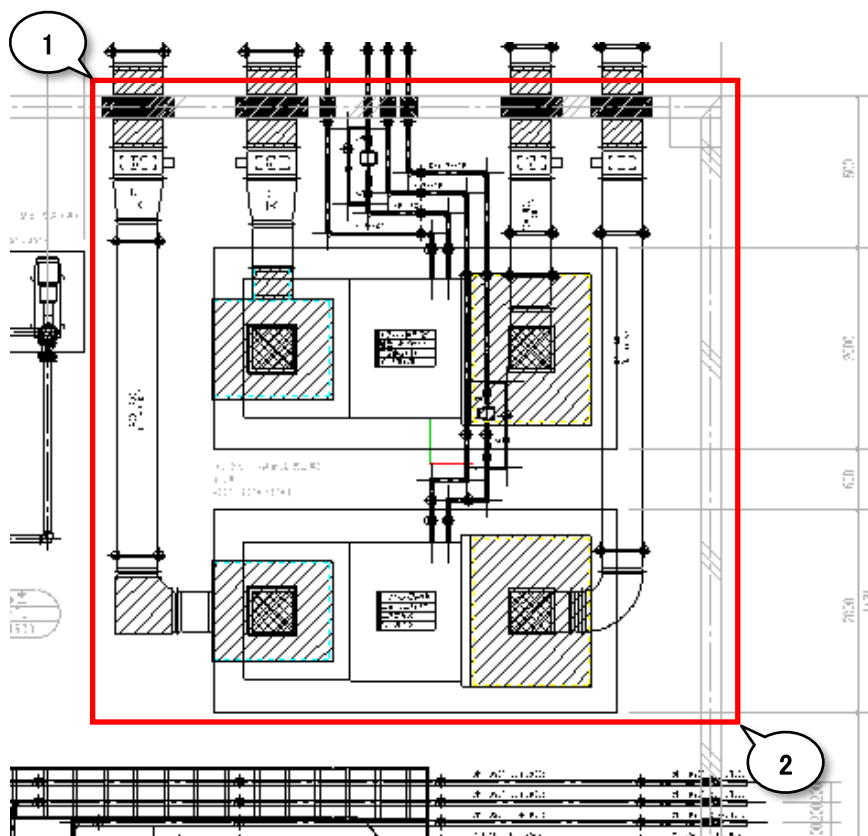
クリック



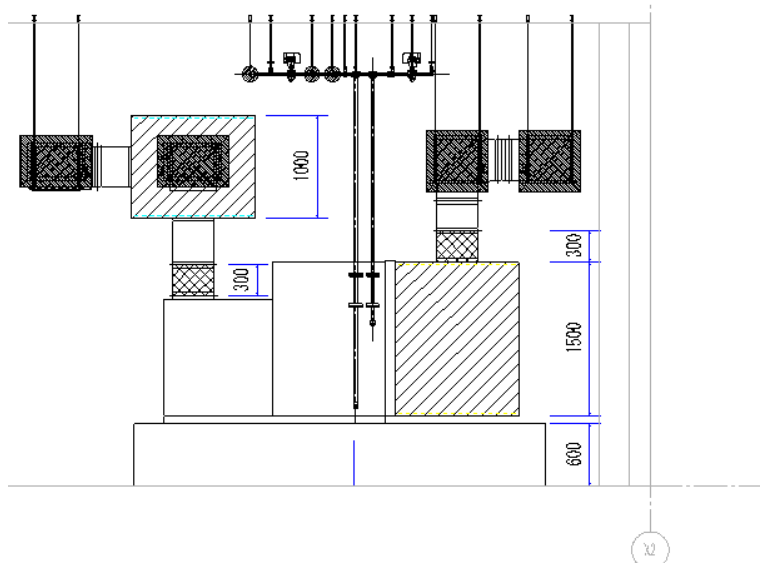
① 第1点を指示してください
*第1点を指示

② 第2点をクリックしてください

〈平面〉



〈正面〉

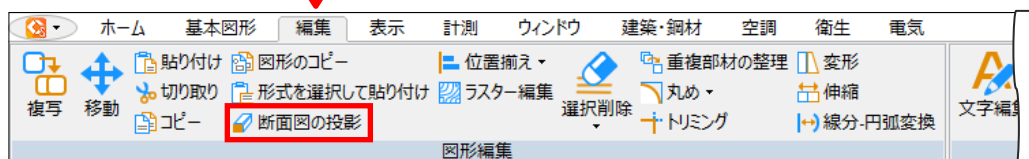


5.

断面図を平面図に投影してみましょう

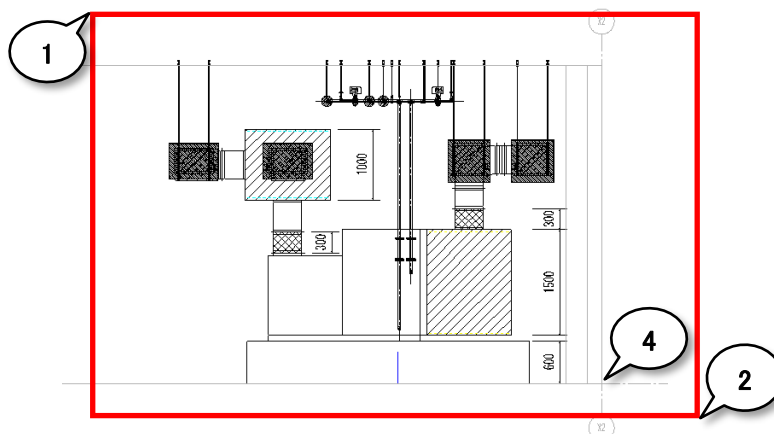
Operation

断面図の投影



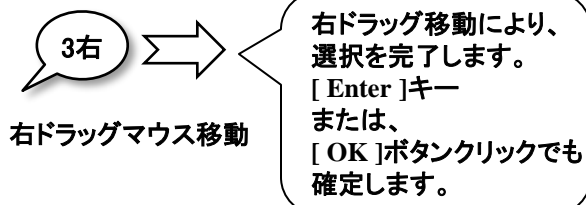
- ① オブジェクトを選択してください
*断面図を選択
- ② 選択範囲の終点を指示してください

〈正面〉



- ③ 右 選択完了

- ④ 処理元原点を指示してください

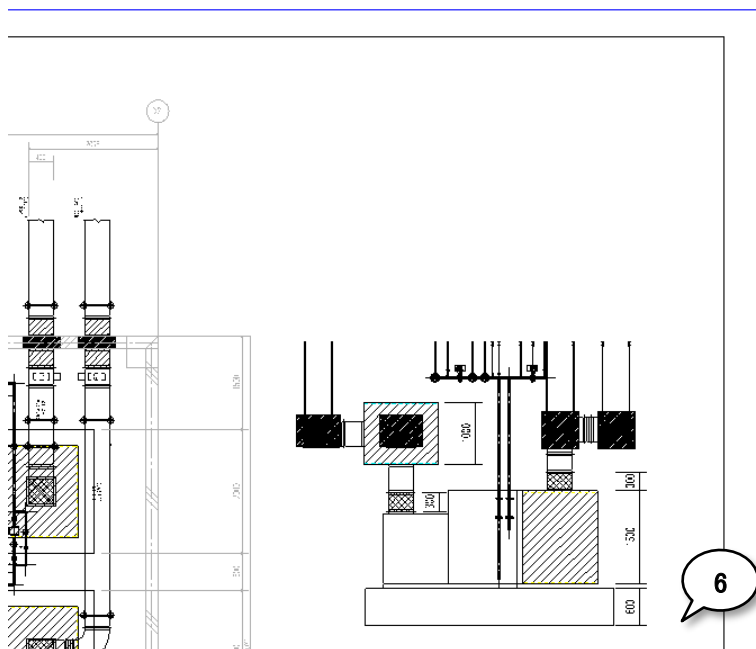


- ⑤ 「ベクトル」をOFFにします



〈平面〉

- ⑥ 処理先原点を指示してください
*平面に配置



6.

クリップボードに画像をコピーしてみましょう

Operation

シーン

ガイドメッセージ上で右クリックし、全てのコマンドを終了

右クリック

断面図の投影 × キャンセル 処理先原点を指示してください

3Dビューを貼り付けたい視点に変更します

① 3Dビューを回転します

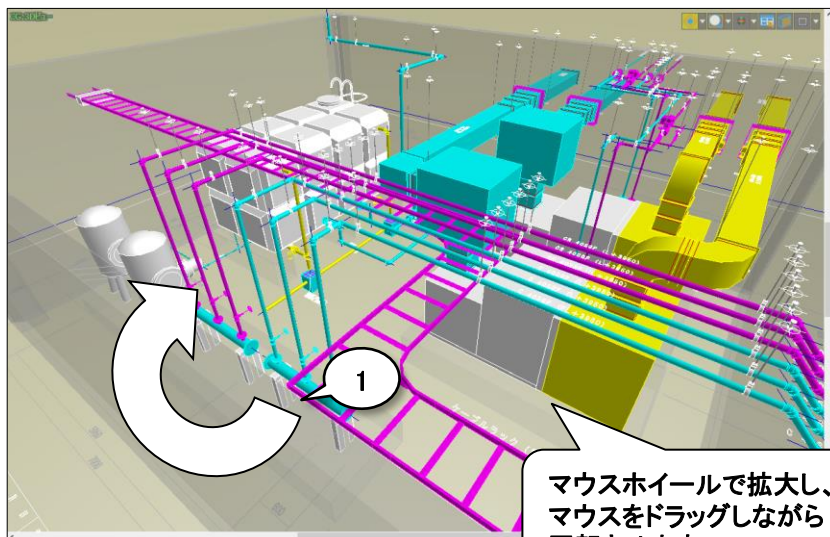
画像をクリップボードにコピーします。

② 「シーン」をクリックします

③ 「現在のシーンを画像としてクリップボードにコピー」をクリックします

④ 「シーン」を閉じます

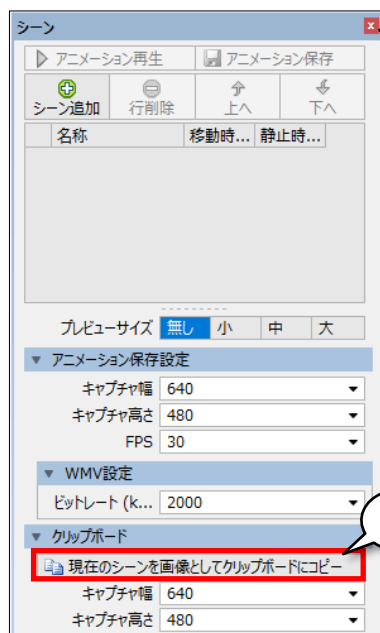
〈 3D 〉



マウスホイールで拡大し、マウスをドラッグしながら回転させます。

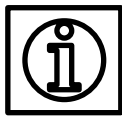


2



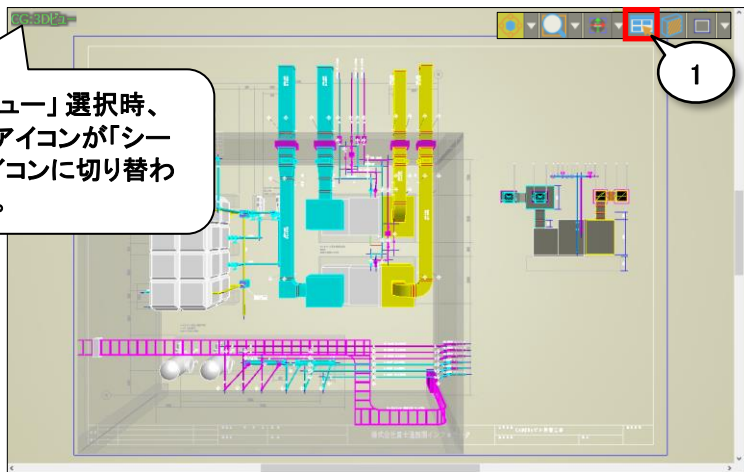
4

3

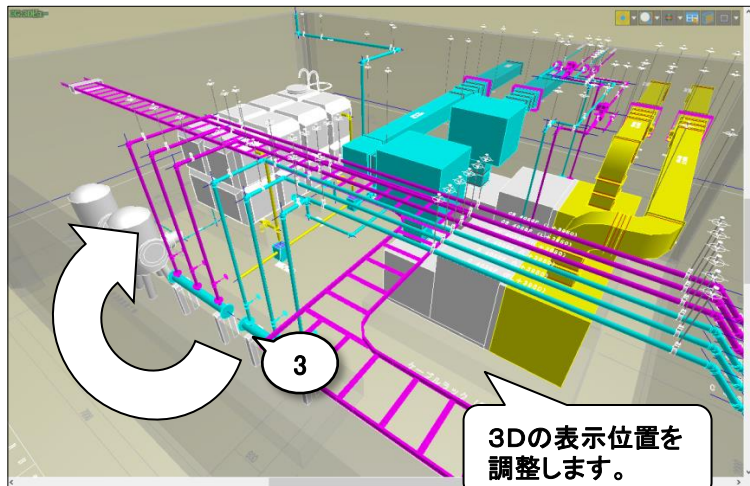
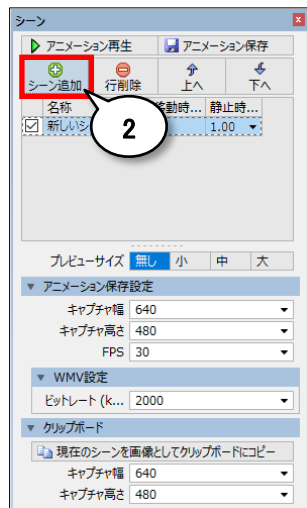


「シーン」

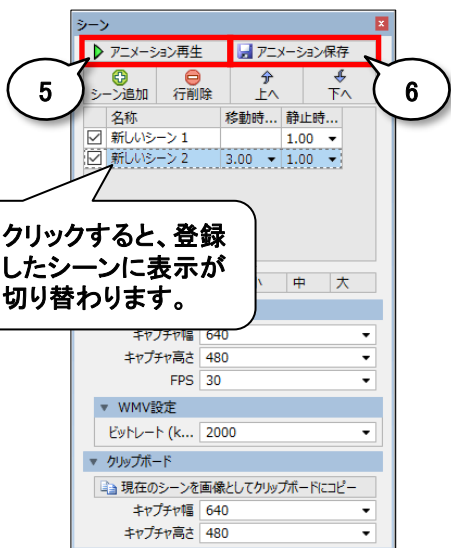
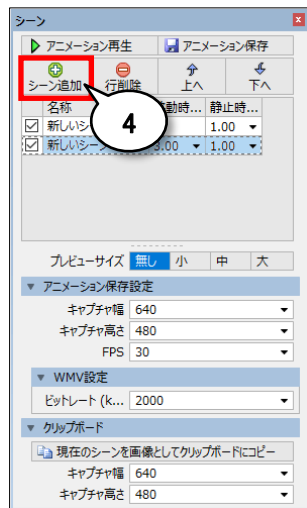
「シーン」では3Dビューのシーンを複数登録することができます。また、登録したシーンを利用してアニメーションの作成、保存ができます。



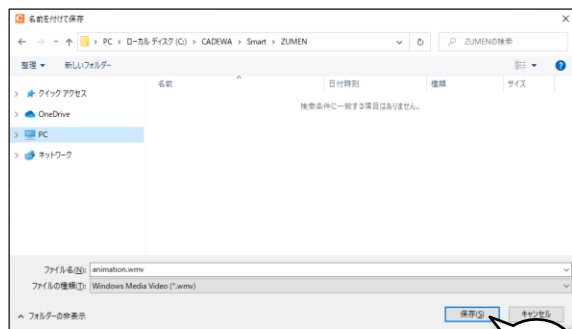
「3Dビュー」選択時、「CG」アイコンが「シーン」アイコンに切り替わります。



3Dの表示位置を調整します。



クリックすると、登録したシーンに表示が切り替わります。



8W

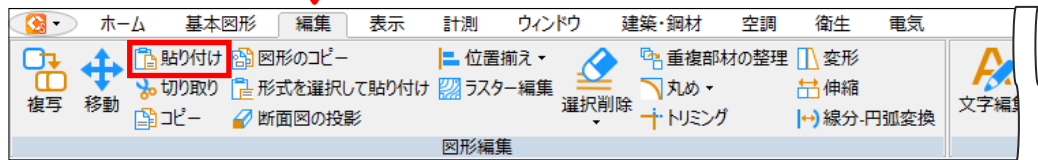
animation.wmv

7

画像を貼り付けしてみましょう

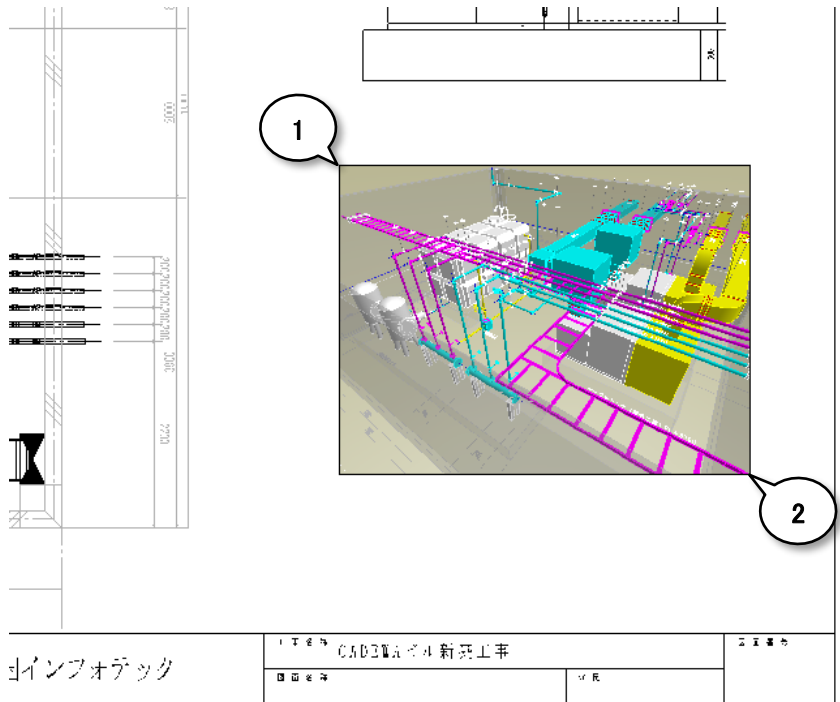
Operation

貼り付け

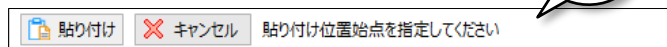


クリップボードにコピーした画像を貼り付けします。

- ① 貼り付け位置始点を指定してください
- ② 貼り付け位置終点を指定してください



- ③ 右 全てのコマンドを終了します



貼り付けとラスター

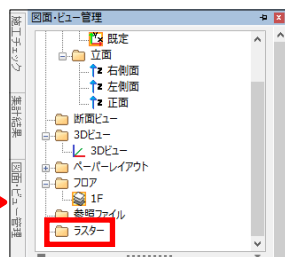
クリップボードに送られたデータは、「貼り付け」もしくは「形式を選択して貼り付け」で配置することができます。jpgやpngなどのファイルは、「図面・ビュー管理」の「ラスター」を使って配置できます。

8.

ラスターを取り込みして配置してみましょう

Operation

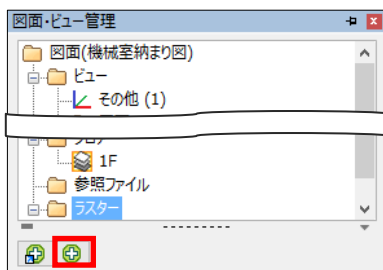
ラスター 呼び出し



「図面・ビュー管理」-「ラスター」をクリックします

① 「ラスター」を取り込みします

*「ラスターを取り込み(埋込)」ボタンをクリック



1



2

3

② ファイルを選択します

*Smart_20_B05_rogo.jpg

③ 開く

④ ラスターの配置位置を指定してください

⑤ サイズを変更します

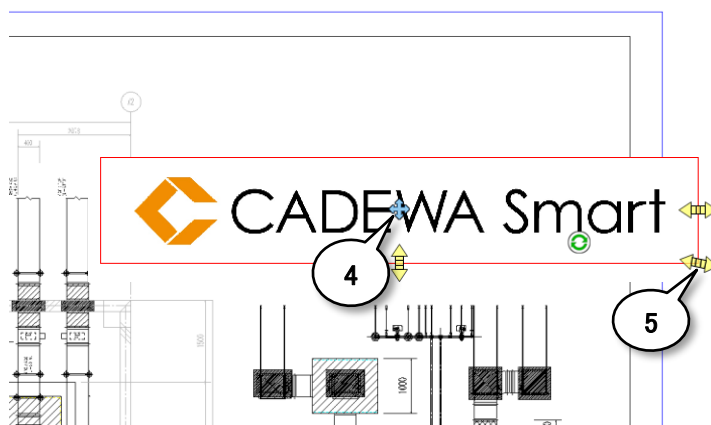
*「縮小」マークをクリック

⑥ サイズを指定してください

⑦ ラスターを移動します

*「移動」マークをクリック

⑧ 処理先原点を指示してください

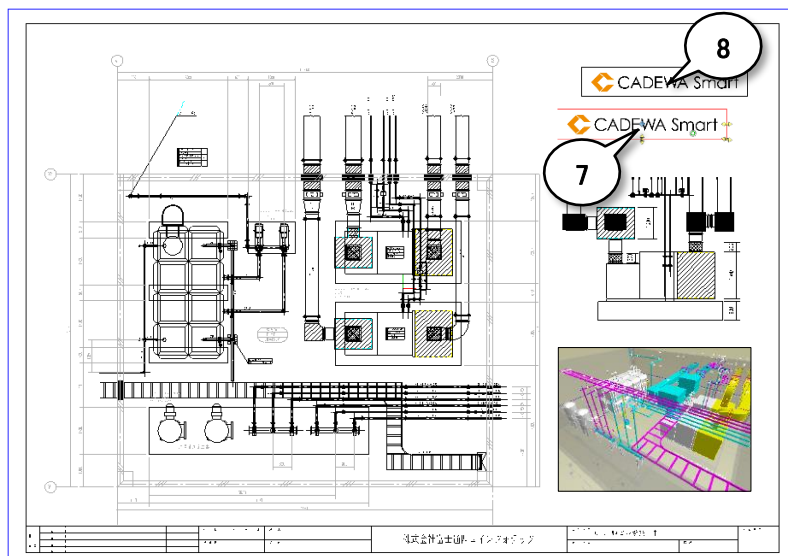


4

5



6



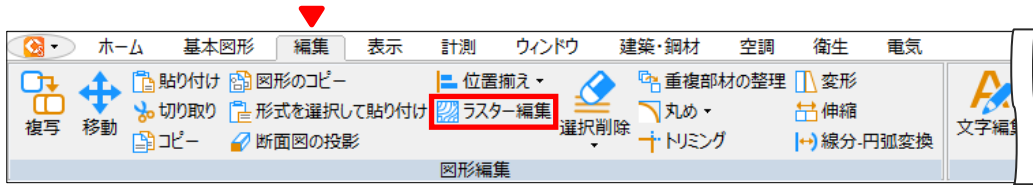
8

7



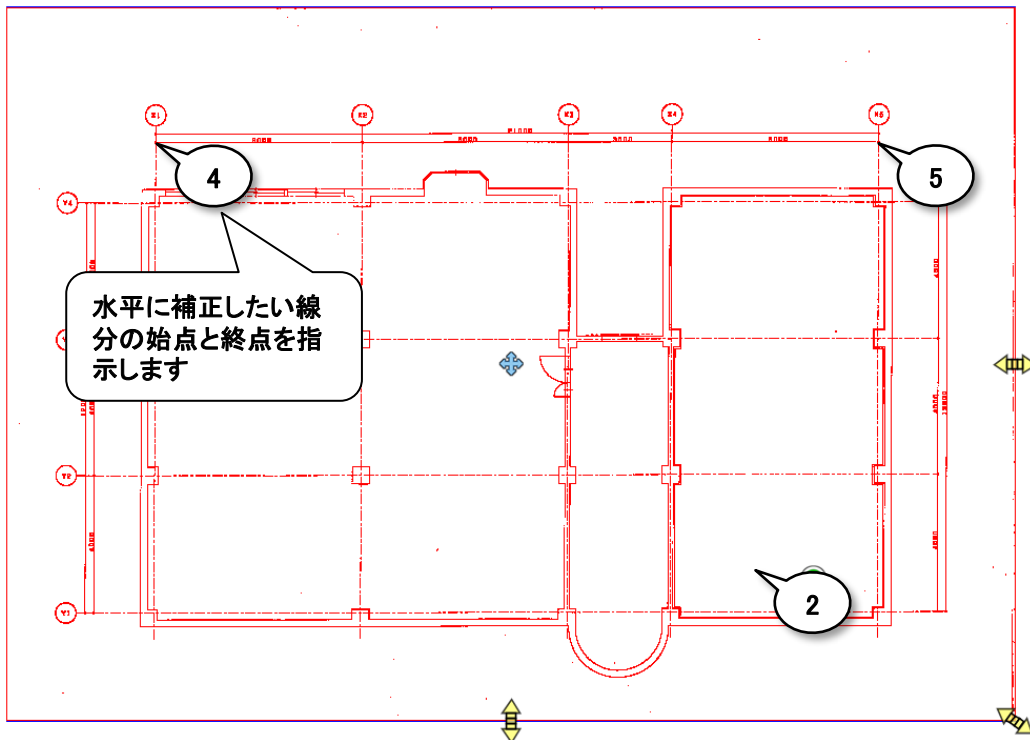
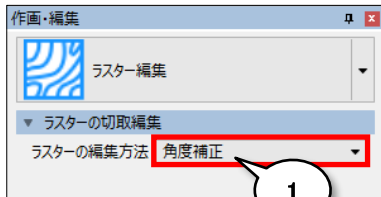
「ラスターの編集」

配置したラスターは「ラスターの編集」で移動、複写、塗り潰し、計測、角度補正などの編集ができます。



・角度補正

配置したラスターの角度を補正できます。



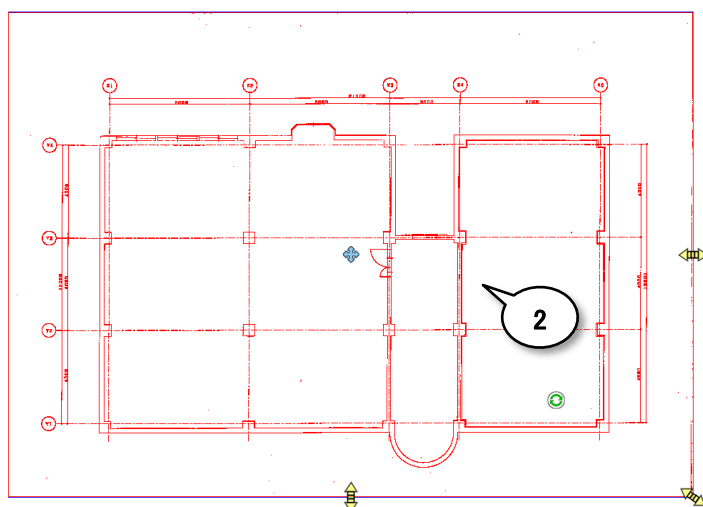
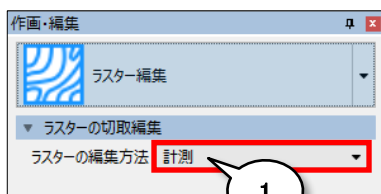
水平に補正したい線分の始点と終点を指示します

3右
右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、選択を完了します。
[Enter]キー
または、
[OK]ボタンクリックでも確定します。

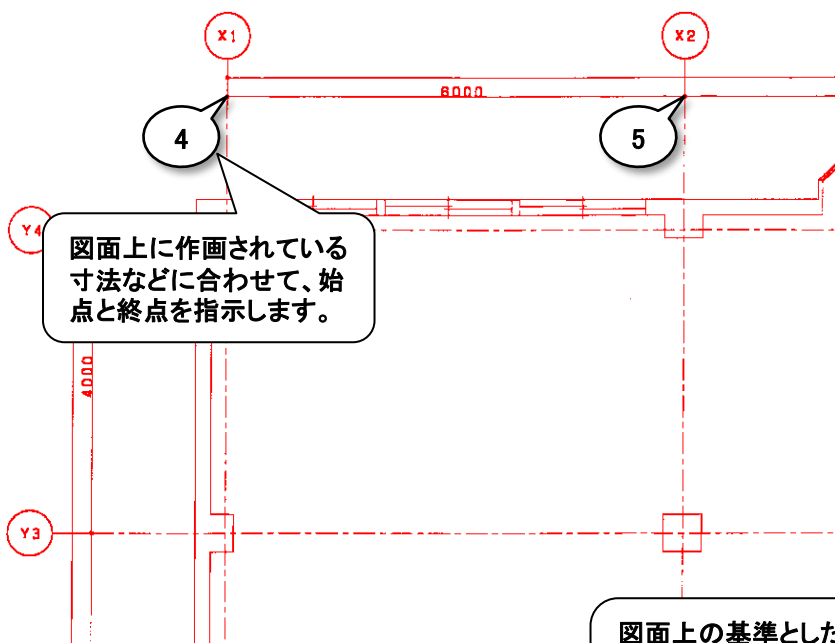
・計測

配置したラスターの指定した2点間の距離を計測し、補正後の距離を指定することで配置尺度を変更します。



右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キー
または、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。



図面上の基準としたい2点を指示して距離計測し、「表示距離」に補正後の距離を入力すると、配置尺度が変更されます。

